

企業価値検索サービス

## ユレット アクセス上昇 ランキング

(3月22～28日)

2週間前、いったん5位にランクし、先週は圏外だったアイフルが再び3位にランキングされた。過払い金返還請求で業績悪化が伝えられる消費者金融業界への注目の高さもあるだろう。アイフルは、破綻リスクの目安とされるCDS

ユレット 上場企業4000社の決算書を複数年にわたりデータベース化したサイト。売上高や営業CFなど、さまざまな角度から企業の経営を分析し、ワンクリックで他社と比較できる。経営方針の転換や経営リスクの高まりなど、市場が注目する銘柄のアクセスが増える傾向がある。

# 「株価急騰」と「リスク上昇」で過熱

## アイフル

	銘柄	取引所	株価(円)
1	アーネストワン	東証1部	107
2	コスモスイニシア	ジャスダック	36
3	アイフル	東証1部	147
4	オリックス	東証1部	3780
5	東芝	東証1部	286

※27日終値。http://www.ullet.com/

退するとの期待感が高まり、株価は先週、一時195円を付けるまで急騰。7営業日続伸した。

26日には、野村証券が借りていた株式、約2000万株を、アイフル創業者で代表取締役社長の福田吉孝氏に返還、福田氏が第5位から第2位の大株主に戻った。野村証券が頻繁にアイフル株の売買を繰り返していることも関心を呼び、マーケットは過熱感が高まっているようにもよる。年度末、その後の決算発表に向け、引き続き注目される。

市場で、取引の基準となる保証料率が50%を超える異常な数値となっている。しかし一方で、米国内で不良資産買い取り策の詳細が発表されると、世界的な金融システム不安が後